

平成25年度施政方針

平成25年度に名張市が進むべき方向を示した施政方針を、3月の定例市議会で亀井市長が述べました。今号では、その一部をご紹介します。

総企画政策室 63・7389

平

成14年9月に財政非常事態宣言を発令してから10年が経過しました。この間、議員の皆様をはじめ市民の皆様のご理解とご協力のもと、財政再建、行政改革に取り組みできました。

長年の懸案となっていました土地開発公社の解散とこれに伴う清算、土地区画整理事業の借入金返済、医師確保対策などの市立病院の経営健全化への取組みに伴う経費負担などから、財政再建の正念場を迎えた平成24年度には、当初から赤字を見込む予算編成を余儀なくされましたが、集中的な改革への取組みにより、危機的な状況は脱しつつあると考えており、黒字決算にも一定の目処がつけられたところです。

しかしながら、財政調整基金が平成24年度末で枯渇するほか、歳入予算の根幹を成す市税収入に多くを期待できず、また、歳出においても社会保障関係経費や公共施設の維持・更新経費の大幅な増加が見込まれるなど、引き続き断念を許さない状況です。

このような状況を踏まえ、「市政一新プログラム」および「財政早期健全化計画」の最終年度となる平成25年度は、改革の総仕上げをきっちり行い、その上



平成25年度施政方針

改革の総仕上げ

で「名張躍進」へと着実に転換を図っていくための土台固めの年と位置づけ予算編成を行いました。

具体的には、財政調整基金や市税・交付税といった一般財源収入が減収となる中、「施策別枠配分方式」による予算編成手法を導入しました。行政評価結果などに基

平成25年度施政方針

名張躍進プロジェクト事業枠

“なばり”子ども・子育て支援

ファミリーホーム設置促進事業、家庭的保育事業など6事業

健康“なばり”推進

生活習慣病予防重点プロジェクト事業、骨髄移植ドナー支援事業など4事業

“なばり”ブランド創出

地場産業振興事業、世界に誇れる伊賀忍者活用事業など4事業

「地域ビジョン推進枠」

ゆめづくり協働事業

◎施政方針全文は、市ホームページに掲載しています。

名張躍進の土台づくりを行うための予算枠

平成25年度施政方針

名張躍進の土台づくり

改

革の総仕上げを成し遂げ、未来に向かって名張市が躍進していくため、平成22年4月に、向こう4年間で推進する政策、「達成から躍進へ5つの宣言」を掲げ、目標達成に向け着実に施策の推進に努めてきました。

こうした中、名張躍進に向けた土台を確固たるものとするための重点事業として、平成25年度予算において、新たに「名張躍進プロジェクト事業枠」と「地域ビジョン推進枠」を設けました。

一方、「地域ビジョン推進枠」につきましては、平成23年度末に15の全地域で策定いただいた地域ビジョンを、名張市総合計画「理想郷プラン」の後期基本計画地域別計画編として位置付け、その実現を図るため平成25年度から「ゆめづくり協働事業」を実施し、地域の特性を生かした個性あるまちづくりを行ってまいります。

本市は、平成25年度末に市制施行60周年を迎えます。今日の名張市を築いてこられた多くの皆様への感謝の気持ちを表し、この記念すべき節目の年を市民の皆様とともに祝うことができるよう、市民の皆様のご協力をいただきながら手作りの周年事業を開催していきたいと考えています。

私は年の始めにあたり、今年一年を予見するあるいは象徴する一文字として「兆(きざし)」を選びました。今後さらに70周年、80周年へと名張市が大きく飛躍していくよう、今年はずいぶん「改革達成」から「名張躍進」に向けて着実に前進する、そんな明るい「きざし」を感じていただければ幸いです。

4月から、市役所1階「地域包括支援センター」に、身体・知的・精神障害の人や難病の人の福祉相談窓口を設置。障害者虐待防止センターを移転しました。

これまで障害者福祉に関する相談は「障害者相談センターなびっと」(はなの里・ぱれっと内)で実施してきましたが、4月からは市役所1階「地域包括支援センター」に「相談支援専門員」などを配置して、身体・知的・精神障害や難病の人の福祉相談を受け付けています。また、虐待発見者からの通報や虐待を受けた人から届出を受け付ける「障害者虐待防止センター」を、総合福祉センターふれあいから「地域包括支援センター」に移転しました。

◎地域包括支援センター内 障害者総合相談窓口・障害者虐待防止センター ☎63-7833

名張藤堂家邸と夏見庵寺展示館

4月13日(土)は無料開放



「県民の日」を記念して、午前9時から午後5時まで無料開放します。

◎文化生涯学習室 ☎63-7892

読者の声

広報メールサポーターから

3-3号掲載「骨髄バンク登録」について ▼リスクなどが分からないので躊躇していますが、私の骨髄で救える命があるなら協力したいです。 ▼名張市でもドナー登録できるようになればいいですね。 ▼理解を求めるには骨髄を提供するまでの詳細も記載するべきなのは。